

各展示施設の日常点検及びメンテナンス

■ 受付・ガイダンス

1 日常点検

- (1) ガイダンスモニターにひび割れ等の異常がないこと。
- (2) ガイダンス映像が正常に映っていること。
- (3) ガイダンスの音声及び音量が正常であること。
- (4) タッチパネルにひび割れ等の異常がないこと。
- (5) タッチパネルがフリーズしていないか等、動作確認を行うこと。
なお、「次へ」をタッチすると登録が完了するので注意すること。
(言語選択画面に戻り、そのままにしておくとトップ画面に戻る。)

2 メンテナンス

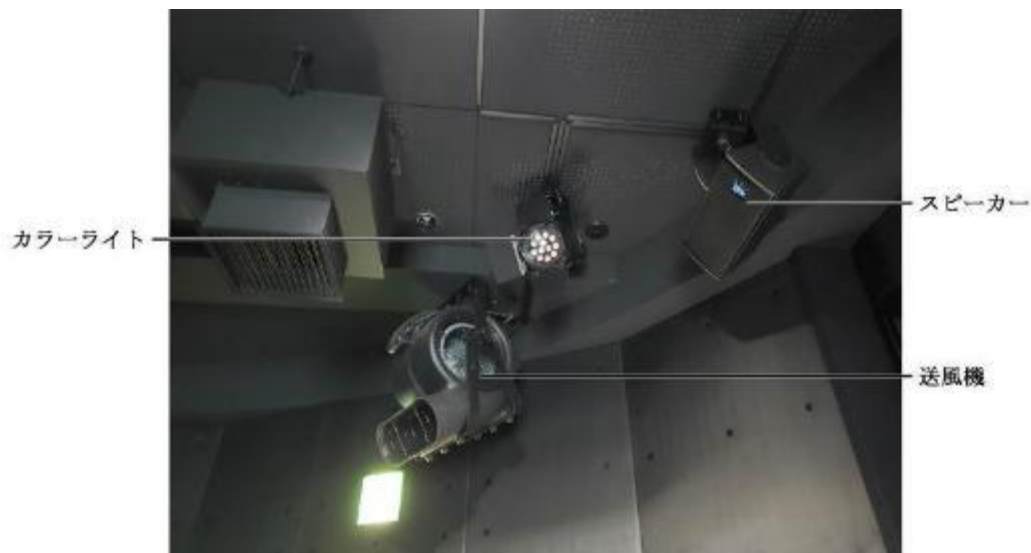
清掃

- (1) タッチパネルについては、水拭きやアルコール拭き等は絶対に行わず、乾いた布で軽く拭き取ること。
- (2) AV機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。

■ 災害バーチャル体験コーナー

1 日常点検

- (1) 音声や映像が正常であること。
- (2) AV 設備のマイクやスピーカーの音量調節、プロジェクターの位置やインジケーター等の確認をする。
- (3) ストロボやカラーライト、通訳者照明、送風機に異常がないこと。



- (4) 座席の手すり等のがたつきがないこと。
- (5) 3D メガネに異常がないこと。
- (6) 天井等ランプ切れがないこと。

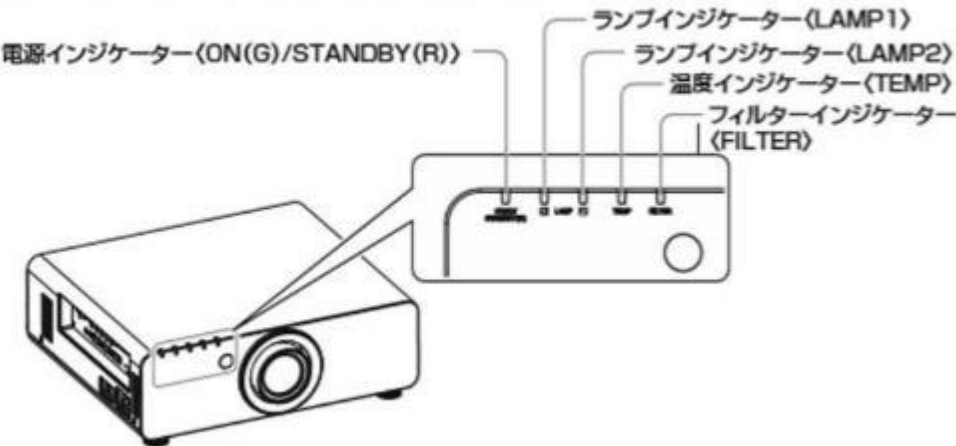
2 メンテナンス

(1) プロジェクター

① インジケータを確認する。

お願い

- 処置を行う際に電源を切るときは、「電源を切る」(☞ 38 ページ) の手順を必ずお守りください。
- 電源の状態は、電源インジケータ (ON (G) /STANDBY (R)) で確認してください。(☞ 37 ページ)



ランプインジケータ (LAMP1) / (LAMP2)

点灯状況	赤色点灯	赤色点滅 (1 回)	赤色点滅 (3 回)	
状態	ランプユニットの交換時期 を表示している	ランプユニットが装着され ていない	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している	
お調べください	・本機の電源を入れたときに 「ランプを交換してください。」という表示が出ま せんでしたか。 ・ランプユニットの使用時間 が 2 300 時間 (ランプ パワー) を「ノーマル」に 設定時) に達すると点灯し ます。	・ランプユニットが装着され ていますか。	・電源を切ってからすぐに電 源を入れ直していません か。 ・ランプ回路に異常が発生し ています。電源電圧が変動 (低下) していませんか。	
処置方法	・ランプユニットを交換して ください。	・ランプユニットが装着され ていない場合は、ランプユ ニットを装着してくださ い。 ・ランプユニットが装着され ているのに赤色点滅をして いる場合は、販売店にご相 談ください。	・光源ランプが冷えるまでし ばらく待ってから電源を入 れてください。	・主電源 (MAIN POWER) スイッチを「OFF」にして (▶ 38 ページ)、販売 店にご相談ください。

お知らせ

- 上記の処置をしてもランプインジケータ (LAMP1) / (LAMP2) が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

(引用元：プロジェクター「PT-DZ680」 取扱説明書 P105)

温度インジケーター〈TEMP〉

点灯状況	赤色点灯		赤色点滅 (1回)	赤色点滅 (3回)
状態	ウォームアップ状態	内部が高温になっている(警告)	内部が高温になっている(スタンバイ状態)	ファンが止まっている
お調べください	• 気温が低い(0℃付近)状態で電源を入れませんでしたか。	• 吸気口/排気口がふさがれていませんか。 • 気温の高い所で使用していませんか。 • フィルターインジケーター(FILTER)が点灯していませんか。		—
処置方法	• このままの状態でも5分ほどお待ちください。 • 周囲温度0℃~45℃*の場所に設置してください。	• 吸気口/排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 • 周囲温度0℃~45℃*、周囲湿度20%~80%(非結露)の場所に設置してください。 • エアフィルターユニットのお手入れ、または交換をしてください。(☞ 107、108ページ)		• 主電源(MAIN POWER)スイッチを〈OFF〉にして(☞ 38ページ)、販売店にご相談ください。

* 高地(海拔1400m~2700m)で使用する場合は、使用環境温度の上限は5℃低くなります。

お知らせ

- 上記の処置をしても温度インジケーター〈TEMP〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

フィルターインジケーター〈FILTER〉

点灯状況	赤色点灯			赤色点滅
状態	フィルターが目づまりしている あるいは、周囲または内部が異常に高温になっている			エアフィルターユニットが 装着されていない
お調べください	• エアフィルターユニットが汚れていませんか。	• 吸気口/排気口がふさがれていませんか。	• [高地モード]が正しく設定されていますか。	• エアフィルターユニットが装着されていますか。
処置方法	• エアフィルターユニットのお手入れ、または交換をしてください。(☞ 107、108ページ)	• 吸気口/排気口をふさいでいるものを取り除いてください。	• 海拔1400m以上~2700m未満で使用する場合は、[高地モード](☞ 71ページ)を[オン]に設定してください。 • 海拔2700m以上の場所では使用しないでください。	• エアフィルターユニットを装着してください。

お知らせ

- 上記の処置をしてもフィルターインジケーター〈FILTER〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 電源を入れたときに、エアフィルターユニットが装着されていない場合、フィルターインジケーター〈FILTER〉が赤色点滅し、10分後に電源が切れます。
- フィルターが目づまりすると、[ランプ選択]を[デュアル]に設定していても、ランプ1灯のみの点灯状態になることがあります。エアフィルターユニットのお手入れをするか、新しいエアフィルターユニットに交換すると解除されます。

(引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P106)

② ランプを交換する。

ランプユニット

ランプユニットは消耗品です。メニューの「プロジェクターセットアップ」→「ステータス」(P. 78 ページ)でランプの使用時間を確認し、定期的に交換してください。

ランプユニットの交換は、専門の技術者に依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

交換用ランプユニット (品番: ET-LAD60A (1 灯)、ET-LAD60AW (2 灯)) をご購入の際は、販売店にご相談ください。



警告



ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待ってから) 行う
カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

ランプユニットの交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当たったり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り換えてください。
- ランプは破裂することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また、本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お願い

- 必ず、指定のランプユニットを使用してください。

お知らせ

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗品です。使用時間の経過とともに、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 2 500 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、2 500 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めの交換用ランプユニットの準備をお勧めします。2 500 時間を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因となるため約 10 分後に自動消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプインジケータ
2 300 時間以降	30 秒間表示されます。30 秒以内に本体操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。(該当のランプのみ点灯)
2 500 時間以降	いずれかのボタンを押すまで、メッセージは表示されたままです。	

お知らせ

- 2 500 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については「保証とアフターサービス」をご覧ください。

ランプユニットの交換手順

お願い

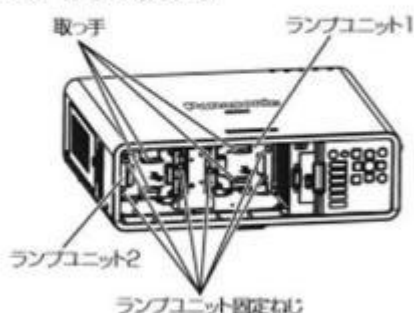
- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業しないでください。
- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。
- ランプユニットが取り付けにくいときは、いったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクタ部分が破損する場合があります。

(引用元: プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P109)

- 1) “電源を切る” (☞ 38 ページ) の手順を守り、主電源 (MAIN POWER) スイッチを (OFF) にしたあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認する
- 2) ランプユニット収納扉を取り外す
 - i) ランプユニット収納扉固定ねじ (1 本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニット収納扉を矢印方向に開きます。
 - ii) ランプユニット収納扉をしっかりと保持し、操作ボタン側にスライドさせた後、セット後方に引き出し取り外します。
- 4) 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む
- 5) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
- 6) ランプユニット収納扉を取り付ける
 - i) ランプユニット収納扉を、(a) と (b) の印 (○と△) を合わせて取り付けます。
 - ii) ランプユニット収納扉を矢印のようにスライドさせ前方にはめ込んだ後、ランプユニット収納扉固定ねじでしっかりと締めつけます。
 - ファン電源コネクタにランプユニット収納扉側のコネクタがしっかりと差し込まれるように取り付けてください。



- 3) ランプユニット固定ねじ (それぞれ 3 本ずつ) をプラスドライバーで外し、取っ手をつまんでランプユニットを取り出す



お知らせ

- 新しいランプユニットに交換した場合、本機側でランプユニットの使用時間が自動的にリセットされます。

(引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P110)

③ フィルターを清掃・交換する。

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行うときは、必ず電源を切ってください。(➡ 36、38 ページ)
- 電源を切るときは、“電源を切る”(➡ 38 ページ)の手順を必ずお守りください。

お手入れ**外装ケース**

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お願い

- レンズはガラス部品です。擦れものに当てたり、強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

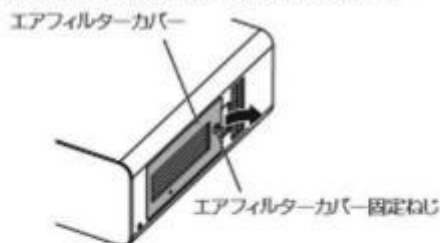
エアフィルターユニット

次の場合はエアフィルターユニットのお手入れを行ってください。

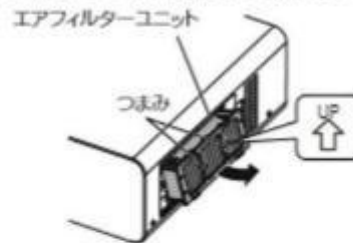
- エアフィルターがほこりなどによって目づまりし、画面上に交換メッセージが表示され、フィルターインジケーター (FILTER) が赤色点灯をした場合。

エアフィルターユニットの取り外しかた**1) エアフィルターカバーを外す**

- プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを反時計方向に空回りするまで回して、取り外してください。

**2) エアフィルターユニットを取り出す**

- エアフィルターユニットのつまみを持ち、プロジェクター本体からエアフィルターユニットを引き出してください。

**お願い**

- エアフィルターユニットを取り出したあとに、エアフィルターユニット収納部及び本体側吸気口に大きなゴミ、ほこりがある場合は、取り除いてください。

エアフィルターユニットのお手入れのしかた

あらかじめ前述の「エアフィルターユニットの取り外しかた」の手順でエアフィルターユニットを取り外します。

1) エアフィルターユニットを洗浄する

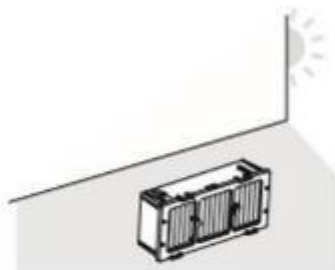
- エアフィルターユニットを、水またはぬるま湯につけ、軽くゆすぐします。
 - ブラシなどの洗浄器具は使用しないでください。
 - ゆすぐ際は、エアフィルターユニットの枠を持ち、フィルター部に強い力をかけないようにしてください。
- 2～3回、新しい水ですすぎを行います。
 - すすぎが不十分だとにおいの原因になります。



(引用元：プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P107)

2) エアフィルターユニットを乾燥させる

- ほこりが少なく、直射日光の当たらない風通しの良い所で自然乾燥させます。
- ドライヤーなどの乾燥器具を用いて乾燥させないでください。
- エアフィルターユニットが乾燥したら、“エアフィルターユニットの取り付けかた” (☞ 108 ページ) の手順に連んでください。



エアフィルターユニットの取り付けかた

1) エアフィルターユニットをプロジェクター本体に取り付ける

- エアフィルターユニットには、上下方向の区別があります。(矢印 (右) 方向を確認してください)
- “エアフィルターユニットの取り外しかた” (☞ 107 ページ) の手順 2) と逆の手順で取り付けてください。

2) エアフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付けて、プラスドライバーでエアフィルターカバー固定ねじを締めつける

- “エアフィルターユニットの取り外しかた” (☞ 107 ページ) の手順 1) と逆の手順で取り付けてください。

お願い

- エアフィルターユニットを洗浄した際は、十分に乾燥させてから本体に取り付けてください。ぬれたまま取り付けると、感電や故障の原因になります。
- エアフィルターユニットを分解しないでください。

お知らせ

- エアフィルターユニットは必ず正しく取り付けでご利用ください。取り付けずに使用すると、こみやほこりを吸い込み、故障の原因になるため 10 分後に電源が切れます。(電源が切れるまでの時間が、1 分刻みで表示されます。)
- エアフィルターユニットを破損した場合や洗っても汚れが目立つ場合は、新しい交換用フィルターユニット (品番: ET-EMF300) に交換してください。
- 洗浄によるリサイクルは 2 回を目安に新品と交換することをお勧めします。
- 洗浄後のフィルターの性能は、初期に比べて低下することがあります。

部品交換

エアフィルターユニット

お手入れをしても、汚れが目立つようになったら交換時期です。

交換用フィルターユニット (品番: ET-EMF300) は別売品です。ご購入の際は販売店にご相談ください。

エアフィルターユニットの交換手順

お願い

- エアフィルターユニットを交換する前に、必ず電源を切ってください。
- 部品交換に際しては、必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で行ってください。

1) エアフィルターユニットを取り外す

- “エアフィルターユニットの取り外しかた” (☞ 107 ページ) を参照してください。

2) 別売品の交換用フィルターユニット (品番: ET-EMF300) をプロジェクター本体に取り付ける

- エアフィルターユニットには、上下方向の区別があります。(矢印 (右) 方向を確認してください)
- “エアフィルターユニットの取り付けかた” (☞ 108 ページ) を参照してください。

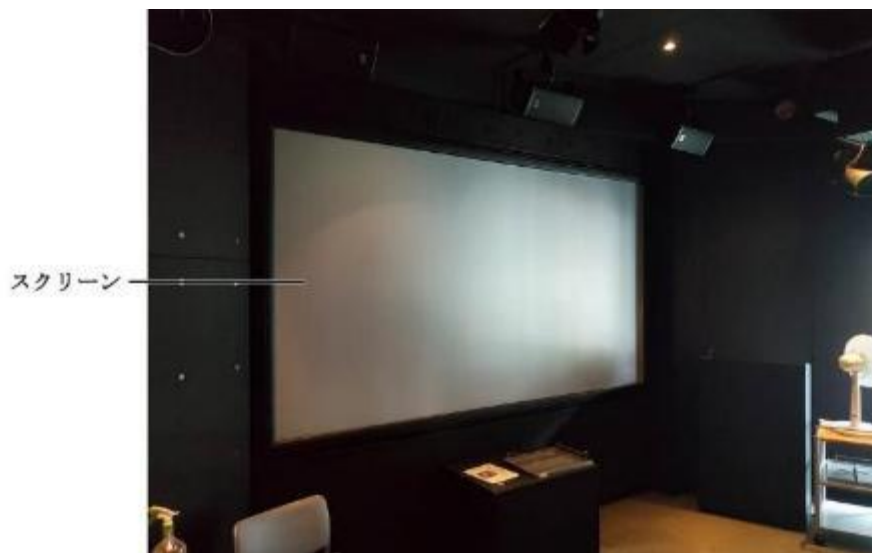
お願い

- プロジェクターの電源を入れるときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、こみやほこりを吸い込み、故障の原因になるため 10 分後に電源が切れます。(電源が切れるまでの時間が、1 分刻みで表示されます。)

(引用元: プロジェクター「PT-DW6300」 取扱説明書 P108)

(2) 清掃

- ① 椅子や演台操作盤等が汚れた場合、薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。
- ② AV 機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。
- ③ スクリーンは水拭きをすると傷や破れ、映像効果を損なう場合があるため、乾いた柔らかい布等で埃を取り除くこと。



■ 地震体験コーナー

1 日常点検

- (1) 振動によりネジが緩む、折れることがあるため、起震台装置及び、周辺の確認をする。
- (2) 起震装置を動かしている時に異音がないこと。
- (3) 緊急地震速報用のスマートフォンや体験室内のモニター、ストロボ等の演出に異常がないこと。



- (4) 火災対策機器のランプや表示板及び、配線に異常がないこと。
- (5) 天井等のランプ切れがないこと。

2 メンテナンス

(1) プロジェクター

① インジケータのランプを確認する。



- ア 「LAMP/COVER」が赤色2回点滅している場合は、ランプカバーまたはフィルターカバーがしっかり閉まっているか確認し、再起動をする。
- イ 「LAMP/COVER」が赤色3回点滅している場合は、ランプが高温になっているため、電源を切ってランプを冷ましてから再起動をする。改善されない場合はランプ交換をする。
- ウ 「ON/STANDBY」が赤色2回点滅している場合は、内部の温度が高温になっているため、フィルターの清掃を行う。また、吸排気口が塞がれていないかも確認すること。
- エ 「ON/STANDBY」が赤色6回点滅している場合は、電源コードを抜き、インジケータが消えるのを確認して再度電源を入れる。

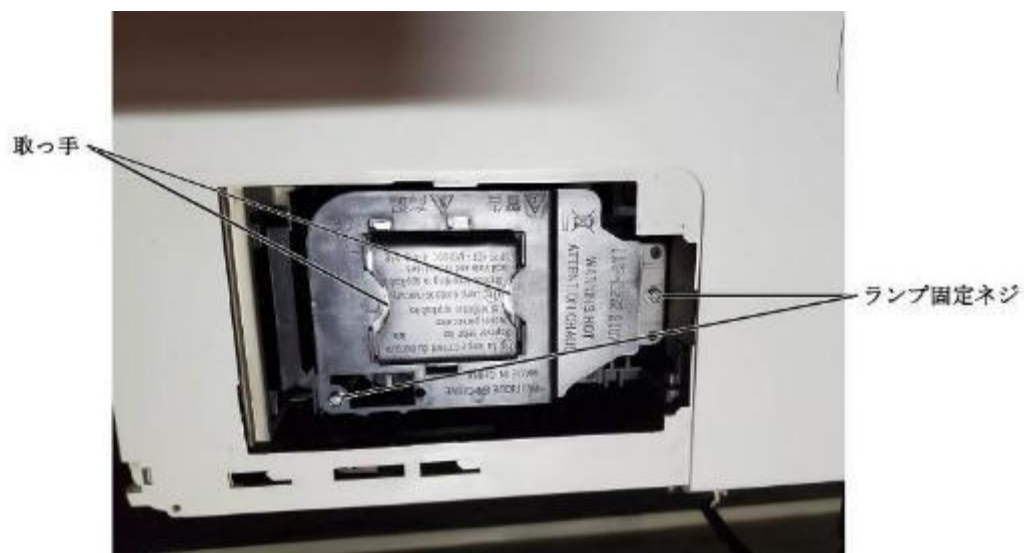
② ランプを交換する。

※ランプユニット交換時期は 2,500～3,000 時間

ア ランプカバーの固定ネジを取り外す。



イ ランプ固定ネジを取り外し、取っ手を持ってランプを取り出す。



ウ 新しいランプを取り付け、ネジで固定し、ランプカバーを取り付ける。

エ リモコンを操作し、「ランプタイマー初期化」を行う。



③ フィルターを清掃する。

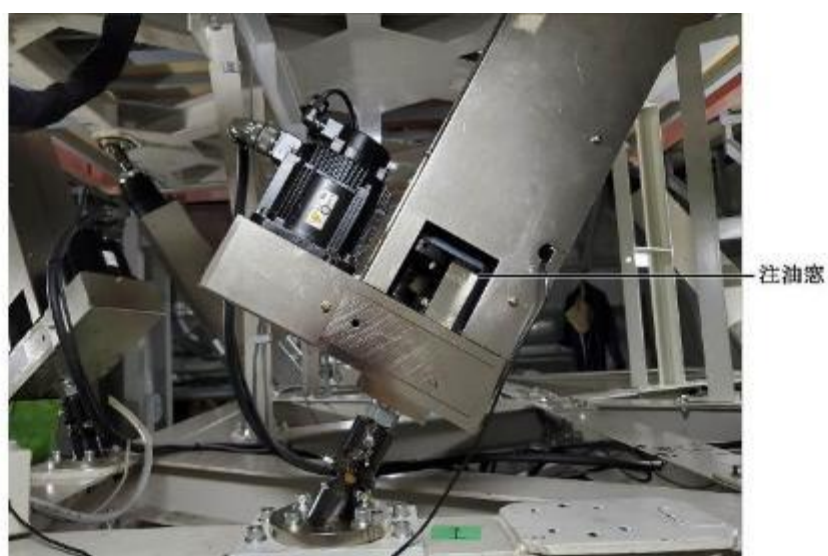
ア フィルターカバーのつまみを持ち、カバーを取り外す。



イ フィルターを取り外し、掃除機等で埃を取り除く。



(2) 各アクチュエーターのグリスアップ



- ① スラストベアリングの周りをきれいに拭き取る。



- ② グリススプレーはスプレー缶を10回以上振る。

【品番：MSDS NASKAGREASE EP スプレー】



- ③ 起震台を止めた状態でスラストベアリングの隙間に金属ノズルを付ける。

スラストベアリングがグリスでうっすら隠れるぐらいスプレーする。



※1つのスラストベアリングに対して必ず二方向からスプレーする。
(オイルガイドがあるものとないものがある)

- ④ 1回目の注油終了後、操作パネルで長周期地震動を選択して起震台を動かす。

※主電源は入れたままにして、2人以上の体制で作業を行う。(1人以上がアクチュエーターに注油、1人は安全上必ず操作パネル前で待機する。)

- ⑤ 起震終了後、2回目の注油をする。

- ⑥ 1か月に2回の頻度でグリスアップを行う。

(3) 清掃

- ① 壁は水性塗料のため、水拭きはしないこと。
埃を払う程度、清掃する。
- ② 火災対策機器やソファ、テーブル等が汚れた場合、薄めた中性洗剤を
染み込ませた柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。
- ③ AV 機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。

■ 消火体験コーナー

1 日常点検

- (1) システム起動後、ガイダンス映像が正常に映っていること。
- (2) ガイダンスの音声及び音量が正常であること。
- (3) 消火器を準備した後、トラッカーのLEDが「緑」に点灯していること。
- (4) 消火体験を実施し、消火器が正常に機能していること。
- (5) 天井照明等のランプ切れがないこと。

2 メンテナンス

(1) プロジェクター

引用元：「エプソン」 EPSON ビジネスプロジェクター

EB-PU2010B 取扱説明書（P162～P174）

① レンズ、本機、エアフィルターの清掃（エアフィルター交換）



本機を清掃する

164

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- ・本機のコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。本機のケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする

165

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は30,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い間隔で掃除してください。（大気中に含まれる粒子物質が0.4mg/m³以下の環境下での使用を想定しています。）

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなるときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

※関連項目

- ・「エアフィルターと吸気口を清掃する」 p.165
- ・「エアフィルターを交換する」 p.167

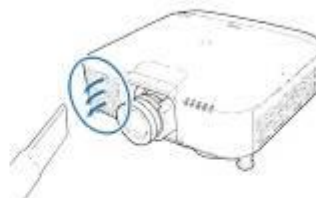
エアフィルターと吸気口を清掃する

以下の場合は、エアフィルターを清掃してください。

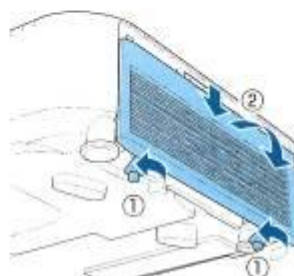
- ・エアフィルターや吸気口が汚れたとき
- ・清掃を促すメッセージが表示されたとき
- ・フィルターインジケータがオレンジ色に点滅したとき

- 1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

- 2 掃除機、またはブラシで丁寧にホコリを取ります。



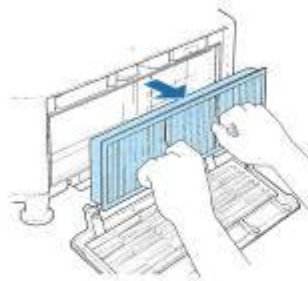
- 3 固定ネジを緩めて、エアフィルターカバーを開けます（ネジは手で緩められます）。



エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする

166

- 4 エアフィルターを取り外します。

**注意**

強く叩きすぎると、エアフィルターが割れて正しく装着できなくなることがあります。

- 6 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表面から吸い取ります。



- 5 エアフィルターの両端を4〜5回軽く叩いて、ホコリを落とします。

**注意**

- ・エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- ・エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

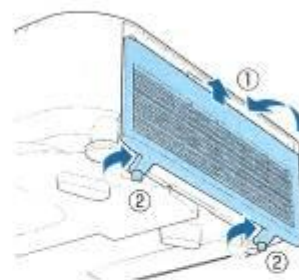
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする

167

- 7 エアフィルターを取り付けます。



- 8 エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



エアフィルターを交換する

以下の場合は、エアフィルターを交換してください。

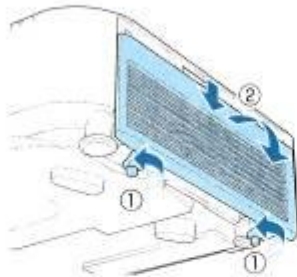
- ・エアフィルターの清掃後に、清掃または交換を促すメッセージが表示される
 - ・エアフィルターが破損している
- 本機は入吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

- 1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

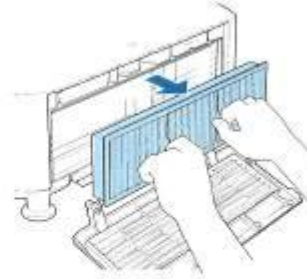
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする

168

- 2** 固定ネジを締めて、エアフィルターカバーを開けます（ネジは手で握られます）。



- 3** エアフィルターを取り外します。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

- ・フィルター名称：ポリプロピレン
- ・フィルター：ポリプロピレン

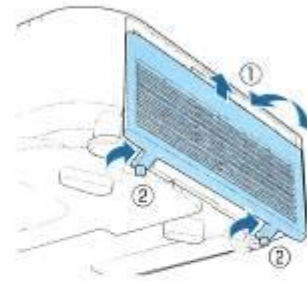
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする

169

- 4** 新しいエアフィルターを取り付けます。



- 5** エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



② インジケータの見方

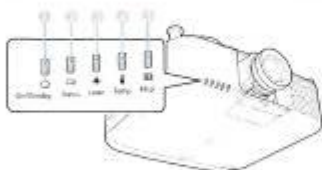
インジケータの見方

172

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。



- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 【拡張設定】メニューの【インジケータ表示】が【オフ】に設定されている場合は、正常な投写中にインジケータがすべて消灯しています。
- 【拡張設定】>【動作設定】>【アドバンスド】>【インジケータ表示】



- ① 電源インジケータ
- ② ステータスインジケータ
- ③ レーザーインジケータ
- ④ 温度インジケータ
- ⑤ フィルターインジケータ

プロジェクターの状態

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 レーザー：状態依存 温度：消灯 フィルター：消灯	投写中の状態です。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 レーザー：状態依存 温度：消灯 フィルター：消灯	ウォームアップ状態です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒たつと映像が表示されます。 ウォームアップ中はすべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	シャットダウン中またはクールダウン中です。 シャットダウン中またはクールダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかです。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源：青点滅 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	以下の状態の連続状態のため、すべての操作が無効になります。 ・ネットワーク監視 ・高速起動 ・USB給電

インジケータの見方

173

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 レーザー：青点滅 温度：消灯 フィルター：消灯	AVミューブを実行中です。
電源：状態依存 ステータス：青点滅 レーザー：青点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	リフレッシュモード動作中です。 ●【拡張設定】>【リフレッシュモード】
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：橙点滅 フィルター：状態依存	内部温度が高くなっています。 ・エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通風が妨げられていないか確認します。 ・エアフィルターが汚れているときは、掃除または交換します。 ・高温にならない環境で使用するようにします。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点灯 フィルター：消灯	内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分経過後、温度を下げます。 ・エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通風が妨げられていないか確認します。 ・高温にならない環境で使用するようにします。 ・エアフィルターが汚れているときは、掃除または交換します。 ・標高1,500m以上の場所でお使いのときは、【高圧モード】を【オン】に設定します。 ●【拡張設定】>【動作設定】>【高圧モード】 ・問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	レーザー警告です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	レンズ警告です。 サポート対象外のレンズが取り付けられています。サポート対象のレンズをお買いください。

インジケータの見方

174

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：楕点灯 温度：消灯 フィルター：消灯	レーザー異常または位置相対異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：楕点滅 フィルター：消灯	ファン異常またはセンサー異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：楕点滅 温度：消灯 フィルター：消灯	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：状態依存 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：状態依存 フィルター：楕点滅	エアフィルター交換通知です。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：状態依存 フィルター：楕点灯	エアフィルター設置警告です。 ・エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 ・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 ・問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：楕点灯	風量低下異常です。 ・エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 ・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 ・問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：楕点灯 温度：楕点灯 フィルター：消灯	レンズシフト異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：楕点灯 温度：楕点灯 フィルター：消灯	レンズ異常またはレンズ未設置の状態です。 ・レンズユニットを取り付けてください。 ・既にレンズユニットが取り付けられているときは、取り付け直してください。 ・問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：状態依存 ステータス：状態依存 レーザー：楕点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	明るさ一定モードが終了します。 ◀ [設定] > [明るさ設定] > [一定モード]

(2) 清掃

- ① スクリーンに汚れが生じた場合は、水拭きやアルコール拭き等は絶対に行わず、埃取り用のポップで軽く拭き取ること。
- ② AV機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。

■ 煙避難体験コーナー

1 日常点検

- (1) スタッフ操作用タッチパネル及び振り返りパネル等にひび割れ等の異常がないこと。
- (2) スタッフ操作用タッチパネル及び振り返りパネルがフリーズしていないか等、動作確認を行うこと。
- (3) ガイダンス映像が正常に映っていること。
- (4) ガイダンスの音声及び音量が正常であること。
- (5) 演出用の照明及びサーキュレーターが正常に機能していること。
- (6) 側域センサー（姿勢検知用）、監視カメラ、I Rセンサー（壁伝い検知用）、マグネットセンサー（ドア開閉検知用）の外観に異常がなく、正常に機能していること。
- (7) 天井照明等のランプ切れがないこと。

2 メンテナンス

(1) プロジェクター

引用元：「リコー」 RICOH PJ WXC4660

取扱説明書（P77・79）

① フィルターの清掃・交換

フィルターの清掃・交換

フィルターの清掃・交換の前に

フィルターの清掃・交換の前に、プロジェクターの電源を切り、ACコードを抜いてください。

フィルターの清掃・交換

フィルターの使用時間が指定された時間を超えたメッセージが表示された、またはフィルターインジケータが点灯した場合、以下の手順でフィルターの清掃もしくは交換を実施してください。

補足

- ① フィルターを取り付けない状態でプロジェクターを使用しないでください。埃や塵がプロジェクターのLCD表示装置に付着し、投写品位を著しく悪化させます。



フィルターの清掃

1. プロジェクターの電源を切り、ACコードを抜いてください。
2. フィルターを外します。
3. 柔らかなブラシ等を用いてフィルターを清掃します。
4. フィルターを本体に取り付けます。

フィルターの交換

1. プロジェクターの電源を切り、ACコードを抜いてください。
2. フィルターを外します。
3. 新しいフィルターを取り付けます。

補足

- ① プロジェクターの性能を保つために交換フィルターは「RICOH PJ 交換用フィルタータイプ8」を使用してください。

フィルター使用時間のリセット

フィルター使用時間をリセットします。P57を参照してください。

② インジケータの見方

症状：インジケータの点灯によるメッセージ

補足

- ...緑点灯
- ...緑点滅
- ...赤点滅
- ...赤点滅
- ...黄点灯
- ...黄点滅
- ...オフ

インジケータ			プロジェクターの状態
電源	状態	フィルター	
○	○	○	プロジェクターが電源オフの状態です。(AC電源が供給されていません)
●	○	○	プロジェクターはスタンバイの状態です。
●	○	○	プロジェクターの電源が入り、使用状態となっています。
●	○	○	プロジェクターがスタンバイモードへ移行しています。光源の冷却が終了して点滅が終了した後で、電源を入れる事ができます。
●	○	○	プロジェクターはライトオフモードとなっています。
●	●	○	ファンエラーが発生して、プロジェクターが使用不能となっています。サービス実施店へ連絡してください。
●	● 0.5s	○	メイン基板のエラーが発生して、プロジェクターが使用不能となっています。サービス実施店へ連絡してください。
●	● 1s	○	LCDパネルのエラーが発生して、プロジェクターが使用不能となっています。サービス実施店へ連絡してください。
●	● 2s	○	HCMのエラーが発生して、プロジェクターが使用不能となっています。サービス実施店へ連絡してください。
●	●	○	光源のエラーが発生して、光源を冷却しています。サービス実施店へ連絡してください。
●	●	○	光源のエラーが発生して、スタンバイモードに移行しました。サービス実施店へ連絡してください。
● 0.5s	● 1s	○	プロジェクターの内部温度が高過となり、使用できません。
●	● 1s	○	プロジェクターの内部温度が高過となったためスタンバイモードへ移行しています。
● 0.5s	● 0.5s	○	プロジェクターの使用環境温度が高過となり、使用できません。
●	● 0.5s	○	プロジェクターの使用環境温度が高過となったためスタンバイモードへ移行しています。
● 0.5s	● 2s	○	プロジェクターの光源温度が高過となり、使用できません。
●	● 2s	○	プロジェクターの光源温度が高過となったためスタンバイモードへ移行しています。
○	○	●	指定したフィルター使用時間に達しました。フィルターの清掃または交換を実施してください。

(2) 清掃

- ① スクリーンに汚れが生じた場合は、水拭きやアルコール拭き等は絶対に行わず、埃取り用のポップで軽く拭き取ること。
- ② タッチパネルについては、水拭きやアルコール拭き等は絶対に行わず、乾いた布で軽く拭き取ること。
- ③ AV機器周辺に埃が見られる場合は掃除機等で取り除くこと。

■ 暴風体験コーナー

1 日常点検

- (1) 送風機に異音や振動、異臭のないこと。
- (2) 操作盤のスイッチの機能等が正常であること。
- (3) AV 設備のマイクやスピーカーの音量調節、プロジェクターの位置やインジケーター等の確認をする。
- (4) 3D 映像が保持されているかを確認する。
- (5) 照明類はランプ切れがないこと。
- (6) 扉や手すりのたてつけ、フィルター、3D メガネ、床材の剥がれ等の目視及び触手による確認をする。

2 メンテナンス

(1) プロジェクター

引用元：「パナソニック」液晶プロジェクター業務用「P T-MZ880J」
取扱説明書・詳細編（P 1 6 6～P 1 6 7）

① インジケーターを確認する。

第 6 章 点検とお手入れ — 光源 / 温度 / フィルターインジケーター

光源 / 温度 / フィルターインジケーター

インジケーターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、光源インジケーター (LIGHT)・温度インジケーター (TEMP)・フィルターインジケーター (FILTER) が点灯や点滅でお知らせします。インジケーターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い

- 処置を行う際に電源を切るときは、「電源を切る」 (xar-5D ページ) の手順を必ずお守りください。

光源インジケーター (LIGHT)

点灯状況	黄色点灯	赤色点滅 (2 回)	赤色点滅 (3 回)
状態	光源の一部の素子が故障して、光出力が低下している	光源が点灯しない、または使用している途中に光源が点灯した	
処置方法	● 主電源 (MAIN POWER) スイッチを (OFF) にして (xar-5D ページ)、もう一度電源を入れてみてください。		

お知らせ

- 処置をしても光源インジケーター (LIGHT) が点灯や点滅する場合は、主電源 (MAIN POWER) スイッチを (OFF) にして、販売店に修理をご依頼ください。

第6章 点検とお手入れ — 光源 / 温度 / フィルターインジケータ

温度インジケータ〈TEMP〉

点灯状況	赤色点灯	赤色点滅 (2回)	赤色点滅 (3回)
状態	内部が高熱になっている（警告）	内部が高熱になっている（スタンバイ状態）	ファンが止まっている
お調べください	- 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。 - 気温の高い所で使用していませんか。		—
処置方法	- 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 - 使用環境温度 0℃～45℃の場所に設置してください。 - 海拔 2,700 m 以上の場所では使用しないでください。		主電源〈MAIN POWER〉スイッチを〈OFF〉にして（※ 50 ページ）、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 知照をしても温度インジケータ〈TEMP〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

フィルターインジケータ〈FILTER〉

点灯状況	赤色点灯		赤色点滅
状態	フィルターが目づまりしている あるいは、周囲または内部が異常に高熱になっている		エアフィルターユニットが破損されていない
お調べください	エアフィルターユニットが汚れていませんか。	吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。	エアフィルターユニットが装着されていますか。
処置方法	エアフィルターユニットのお手入れ、または交換をしてください。（※ 158 ページ）	吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。	エアフィルターユニットを装着してください。

お知らせ

- 知照をしてもフィルターインジケータ〈FILTER〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- 電源を入れたときに、エアフィルターユニットが破損されていない場合、フィルターインジケータ〈FILTER〉が赤色点滅します。

② お手入れ／部品交換

(引用元：パナソニック 液晶プロジェクター業務用「P T-MZ880J」
取扱説明書・詳細編、」P 1 6 8～P 1 7 0)

第 6 章 点検とお手入れ — お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行うときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。(※ 42、50 ページ)
- 電源を切るときは、「電源を切る」(※ 50 ページ) の手順を必ずお守りください。

お手入れ

外装ケース

- 汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
 - お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。
 - 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

レンズの前面

- レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。
- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
 - レンズは傷つきやすいため、強くこすらないでください。

お願い

- レンズに強いものを当てたり、レンズの前面を強く叩いたりすると傷つくおそれがあります。

エアフィルターユニット

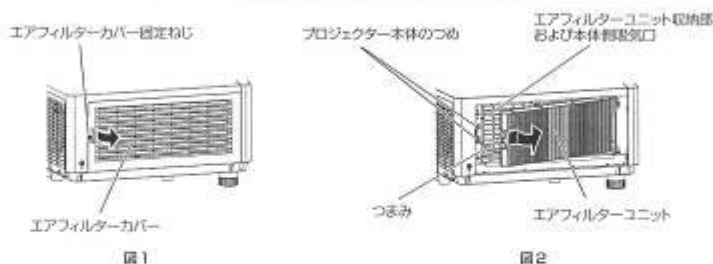
次の場合はエアフィルターのお手入れを行ってください。

- エアフィルターがほこりなどによって目づまりし、画面上に交換メッセージが表示され、フィルターインジケーター (FILTER) が赤色点灯をした場合。

お願い

- 必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターカバーやエアフィルターユニットが落下しても安全な場所で行ってください。
- エアフィルターユニットを交換したら、必ず、フィルターカウンターをリセットしてください。エアフィルターユニットの交換後、フィルターカウンターをリセットしないと、「フィルターカウンターが設定時間に到達しました」と表示されます。フィルターカウンターのリセットについて、詳しくは「フィルターカウンターをリセットする」(※ 168 ページ) をご覧ください。

エアフィルターユニットを取り外す



1) プロジェクターの電源を切る

- 電源を切るときは、「電源を切る」(※ 50 ページ) の手順を必ずお守りください。

2) エアフィルターカバーを取り外す (図 1)

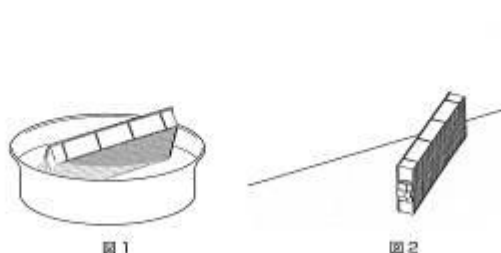
- エアフィルターカバー固定ねじ (1 本) をプラスドライバーで反時計方向に空回りするまで回し、エアフィルターカバーの凹部に指をかけて矢印方向へゆっくりと引き離けて取り外します。

第6章 点検とお手入れ — お手入れ / 部品交換

- エアフィルターカバーを引き開ける際は、必ずエアフィルターカバーに手をそえてください。勢いよく引き開けると、エアフィルターカバーが落下する場合があります。
- 3) エアフィルターユニットを取り出す (図2)
- エアフィルターユニットのつまみを、矢印のとおり内側に少し押しながら、プロジェクター本体のつまみから外して引き出し、エアフィルターユニットを取り出します。
 - エアフィルターユニットを取り出したあと、本体側エアフィルターユニット収納部および本体側吸気口にこみやほこりがある場合は取り除いてください。

エアフィルターユニットをお手入れする

あらかじめ前述の「エアフィルターユニットを取り外す」(☞ 168 ページ)の手順でエアフィルターユニットを取り外します。



- 1) エアフィルターユニットを洗浄する (図1)
- エアフィルターユニットを、水またはぬるま湯につけ、軽くゆすぐします。
 - ブラシなどの洗浄器具は使用しないでください。
 - ゆすぐ際は、エアフィルターユニットの枠を持ち、フィルター部に強い力をかけないようにしてください。
 - 2～3回、新しい水ですすぎ洗いをします。
 - すすぎが不十分だとおいの原因になります。
- 2) エアフィルターユニットを乾燥させる (図2)
- ほこりが少なく、直射日光の当たらない風通しの良い所で自然乾燥させます。
 - ドライヤーなどの乾燥器具を用いて乾燥させないでください。
 - エアフィルターユニットが乾燥したら、次の「エアフィルターユニットを取り付ける」(☞ 169 ページ)に進んでください。

エアフィルターユニットを取り付ける

- 1) エアフィルターユニットをプロジェクター本体に取り付ける
- 「エアフィルターユニットを取り外す」(☞ 168 ページ)の手順3)と逆の手順で取り付けてください。
 - エアフィルターユニットをカチッと音がするまで、しっかりと押し込んでください。
- 2) エアフィルターカバーを取り付ける
- 「エアフィルターユニットを取り外す」(☞ 168 ページ)の手順2)と逆の手順でエアフィルターカバーを閉じ、カチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。
 - エアフィルターカバー固定ねじ(1本)をプラスドライバーでしっかりと締めつけます。

フィルターカウンターをリセットする

- プロジェクターの電源を入れる
- リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押す
 - 【メインメニュー】画面が表示されます。
- ▲▼ボタンで【プロジェクターセットアップ】を選択する

第6章 点検とお手入れ — お手入れ / 部品交換

- 4) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [プロジェクターセットアップ] 画面が表示されます。
- 5) ▲▼ボタンで [フィルターカウンター] を選択する
- 6) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [フィルターカウンター] 画面が表示されます。
- 7) ▲▼ボタンで [フィルターカウンターリセット] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- 8) 確認画面が表示されるので、◀▶ボタンで [実行] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
 - [フィルターカウンター] の表示が [0 時間] になります。

お願い

- エアフィルターユニットを洗浄した際は、十分に乾燥させてから本体に取り付けてください。ぬれたまま取り付けると、感電や故障の原因になります。
- エアフィルターユニットを分解しないでください。
- エアフィルターユニットは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、こみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- 吸気口の穴から物などを差し込まないでください。故障の原因になります。

お知らせ

- フィルターカウンターをリセットせずに使用すると、実際のフィルター使用時間（カウンター数値）が確認できなくなります。
- エアフィルターユニットを取り付けずに使用すると、フィルターインジケーター（FILTER）が赤色に点滅し、投写画面上にメッセージが約30秒間表示されます。
- エアフィルターユニットが破損した場合や流れても汚れが目立つ場合は、新しい別売品の交換用フィルターユニット（品番：ET-RFM100）に交換してください。
- 洗浄による再使用は2回を目安に新品と交換することをお勧めします。
- 洗浄後のフィルターの性能は、初期に比べて低下することがあります。
- エアフィルターユニットの交換サイクルは、使用環境によって大きく異なります。

部品交換

エアフィルターユニット

お手入れをしても、汚れが目立つようになったら交換時期です。

交換用フィルターユニット（品番：ET-RFM100）は別売品です。ご購入の際は、販売店にご相談ください。

エアフィルターユニットの交換手順

お願い

- エアフィルターユニットの交換を行う前に、必ず電源を切ってください。
- 取り付けに際しては、必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で行ってください。

- 1) エアフィルターユニットを取り外す
 - “エアフィルターユニットを取り外す”（[p.168](#) ページ）をご覧ください。
- 2) 別売品の交換用フィルターユニット（品番：ET-RFM100）をプロジェクター本体に取り付ける
 - エアフィルターユニットには上下方向の区別はありませんが、表裏の区別があります。プロジェクター本体側の溝とエアフィルターユニットの突起位置を合わせてください。
 - “エアフィルターユニットを取り付ける”（[p.169](#) ページ）をご覧ください。

お願い

- プロジェクターの電源を入れるときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けて使用してください。取り付けずに使用すると、こみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- エアフィルターユニットを取り付けずに使用すると、フィルターインジケーター（FILTER）が赤色に点滅し、投写画面上にメッセージが約30秒間表示されます。

お知らせ

- エアフィルターユニットの交換サイクルは、使用環境によって大きく異なります。

(2) 清掃

- ① 体験室内外の壁はボード素地や水性塗料のため、水拭きはしないこと。埃を払う程度、清掃する。
- ② ドアや正面メンテ扉、体験カメラ映像用モニター、風速表示、手すり、操作卓等が汚れた場合、薄めた中性洗剤を染み込ませた柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。
※ドアを強くこすると表面の塗装が剥がれるため注意すること。



- ③ AV 機器周辺や制御盤の吸排気口に埃が見られる場合は、掃除機等で取り除くこと。

※PA ルーム(制御盤のある部屋)は、埃を嫌う機器が多く、埃が多いと故障の原因となるため、定期的(週に1回程度)の清掃を行うこと。



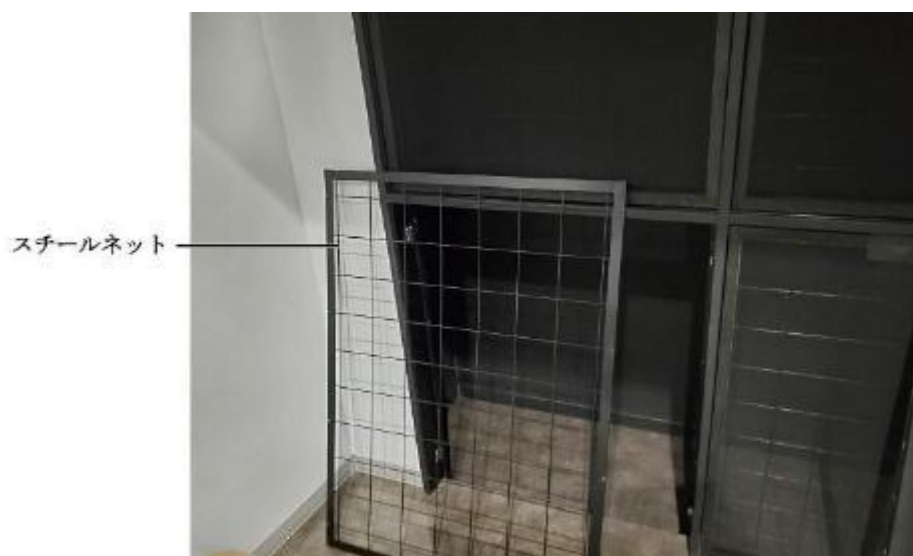
- ④ プロジェクターBOX 内の清掃は年1回の定期点検時に業者により実施される。(令和5年2月16日：業者確認済み)

- ⑤ 体験室内は暴風によりごみが飛ばされる危険性があるため、床面や吸気口フィルターは掃除機や粘着テープ等でこまめに清掃すること。



※吸気口フィルターがごみや埃等により目詰まりした状態での稼働は、装置に余分な負荷を与え、装置が故障したり、寿命が短くなる。

- ⑥ 吸気口裏側の清掃を行う場合は、正面左下の吸気口フィルターを取り外し、四方フレームに9か所ビス止めしているスチールネットを取り外す。



- ⑦ スクリーンは水拭きをすると傷や破れ、映像効果を損なう場合があるため、乾いた柔らかい布等で埃を取り除くこと。



- ⑧ 屋上面はモップ等で埃を取り除くこと。
※中央部分は強度が弱いため注意すること。



3 その他

- (1) 制御盤の吸排気口をふさぐと装置の故障につながるため、制御盤の前に荷物等は置かず、広く開けること。



- ※制御盤は通常運用時には操作する必要はない。感電する危険があるため、通常は必ず施錠し、むやみに扉を開けないこと。装置の異常が考えられる場合はメンテナンス業者(有資格者)により点検を行うこと。
- (2) プロジェクターBOX 内で作業するときは、プロジェクターを動かさないよう注意すること。
- (3) レザーカバーはマジックテープで止めているため補修や交換が可能。
【品番：サンゲツ コントラクトレザー UP6807 ※特注製作品】



- (4) 吸気口フィルターは木製枠に巻込んで張り、枠側面にタッカー止めをしている。張り替える場合はタッカーを抜いて同様に張り替えること。

【品番：旭化成 サラン®ネット スクリーン B-24】



■ 救急体験コーナー

1 日常点検

- (1) 映像やスイッチに異常がないかを確認する。
- (2) AED の電池切れ等異常がないかを確認する。
- (3) ランプ切れがないかを確認する。

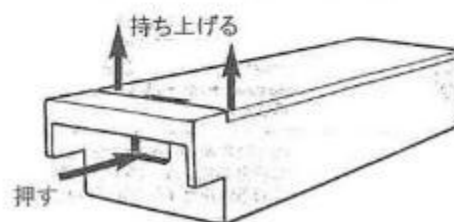
2 メンテナンス

(1) AED の電池交換

バッテリーの交換

バッテリーケースをAEDトレーナ2に取り付けるには、バッテリーケースの上ふたをスライドさせます。このとき、バッテリーケースのラベルが上向きになるようにします。正しく挿入されるとバッテリーケースは所定の位置に固定され、AEDトレーナ2は自動的に電源が入り、「セットアップ」モードになります。バッテリーのパワーが低下すると、AEDトレーナ2の電源投入時に「バッテリーが低下しています」という音声メッセージが流れます。このメッセージが流れたら、バッテリーを次のように交換して下さい。

1. バッテリーケースを取り外します。2個のロックが解除されるまで、バッテリーケースハンドルを持ち上げ、AEDトレーナ2からバッテリーケースを取り外します。
2. アルカリ電池を交換します。バッテリートレイから上ふたを外します。(イラストを参照して下さい)。
3. 古い電池を取り外し、新しい単2アルカリ電池を入れます。必ずバッテリーケースの内側に表示された向きに従って電池をセットして下さい。
4. ふたを元の位置に戻し、バッテリートレイをAEDトレーナ2に再挿入します。



(引用元：訓練用 AED 「Laerdal AED Trainer 2」 取扱説明書 P5)

(2) 清掃

- ① AV 機器付近の埃や床を掃除機等で清掃する。
- ② AED やレサシアンに汚れがついた場合は、薄めた中性洗剤を染み込ませ柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。

■ はしご車に乗ってみよう

1 日常点検

- (1) 無線機の交信音やクラクション、サイレン等音響システムに異常がないかを確認する。
- (2) パトライトが正常に点灯するかを確認する。
- (3) ペダルやスイッチ、レバー等各設備に異常がないかを確認する。



2 メンテナンス

(1) 清掃

- ① はしご車内外の埃をモップ等で取り除く。
- ② 汚れがついた場合は、薄めた中性洗剤を染み込ませ柔らかい布をかたく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げる。
※電気系統に水分が入らないように注意すること。
- ③ AV 機器周辺に埃が見られる場合は、掃除機等で取り除くこと。

■ 学習コーナー

1 日常点検

- (1) 各モニターに落下危険がなく、正常に映っていること。
- (2) 各掲示物、めくりパネル及び吹き出しパネル等に落下危険がないこと。
- (3) 段ボールベットに座った状態での耐久性があること。
- (4) 天井照明等のランプ切れがないこと。

2 清掃

- (1) 掲示物や段ボールバット等は、水拭きやアルコール拭き等を行わず、埃取り用のポップで軽く拭き取ること。
- (2) 床面は掃除機で清掃を行うこと。